

TPP交渉参加に関する決議

平成25年2月27日
自由民主党政務調査会
外交・経済連携調査会

- 1 先の日米首脳会談を受けて、依然としてTPP交渉参加に対して慎重な意見が党内に多く上がっている。
- 2 政府は、交渉参加をするかどうか判断するにあたり、自由民主党における議論をしっかり受けとめるべきである。
- 3 その際、守り抜くべき国益を認知し、その上で仮に交渉参加の判断を行う場合は、それらの国益をどう守っていくのか、明確な方針を示すべきである。
- 4 守り抜くべき国益については別紙のとおり、確認する。
以上決議する。